

地域交流の輪を広げよう

5月15日、ひかり学園の利用者や同学園の託児所の子どもたち、地域の方々が集まったパン作り教室が保健福祉センターで開催されました。この教室は、障害者と地域の方々が“パン作り”を通して交流し、障害のある人に対する理解を深めてもらおうと社会福祉法人榎の実会の主催により行われました。講師には泉ベーカリーの平山泉さんを招き、参加者の皆さんはパン生地を動物などの形にして楽しそうに作っていました。パンを焼いている間は、平山さんが焼いてくれたクロワッサンやクッキーを美味しくいただき、焼きあがったパンはお土産として持ち帰りました。「子どもたちや地域の方々にとって、この教室が障害のある人との関わり方を考えるきっかけになればいいですね」と榎の実会の職員は話していました。



親子でチャレンジ

今年で37回目を迎える「子どもつり大会」が5月14日、あじさい遊歩道脇の栗山川で開催され、町内の小学生や中学生合わせて14名が参加しました。当日は早朝から良い天気にも恵まれましたが、風が強く普段の腕前が発揮できず苦戦を強いられるなかで優勝したのは、お父さんと参加した第一小6年生の岩畑さんでした。また、青少年相談員・子ども会の方々から、参加した子どもたちに手作りのポップコーンが振る舞われました。



目指せ甲子園！

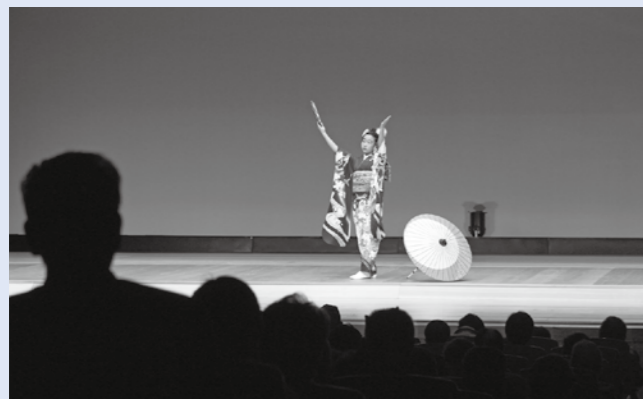
コミュニティプラザにおいて多古高等学校野球部を応援する会主催の壮行会が、5月21日に開催されました。

昨年の夏、多古高野球部の36年ぶりベスト8進出の快進撃は記憶に新しいところですが、大勢の新入部員を迎え、68名で挑む今年の夏。圓城寺校長や迫屋監督、そして部員を代表した鈴木主将の力強い意気込みを聞くことができました。壮行会の会場内では校歌が歌われましたが、今年の夏もグラウンドで何度も校歌が鳴り響くことを期待します。



和のこころ、日本舞踊の魅力

5月15日、多古町文化協会舞踊部主催による第28回舞踊発表会が文化ホールで行われ、日本の伝統文化に触れようと多くの方が会場を訪れました。出演者は幅広い年代に及び、「舞」や「歌」を披露し、日頃の稽古の成果が発揮されました。来場者の皆さんは、からだ全体でストーリーを表現する優雅で繊やかな「舞」などに魅了され、楽しい1日を過ごしました。



優勝を目指して！ —スナッグゴルフ大会—

青く晴れ渡った空の下で5月15日、コミュニティプラザみどりの広場で第12回多古町スナッグゴルフ大会が開催され、町内小学校の児童と保護者が集結しました。

児童たちは日頃の練習の成果を発揮しようと精一杯頑張り、白熱した大会となりました。当日はスコアの記録など、多古中ゴルフ部の生徒たちの協力もあり、みんなでさわやかな汗を流しました。

部門別優勝者

(敬称略)

【団体】

第一小A 中谷 愛純(6年生)
萩原 和楓(5年生)
佐藤 天音(5年生)
萩原 幸也(4年生)
鈴木 雄太(4年生)
関根 昌輝(4年生)



【個人】(低学年)

久賀小 岡村 拓実(4年生)

【個人】(高学年)

第一小A 中谷 愛純(6年生)

【親子】

中村小 前林 正登(5年生)・隆博



アフリカの伝統音楽を聴く —多古高文化公演会—

5月21日、文化ホールで多古高主催による「伝統&モダン アフリカ音楽 B.B.モフラン&ピタシカ コンサート」が開催され「太鼓の音は大地の鼓動、風に大地の心をのせ、人々の歌声は明日への希望をつなぐ」をテーマに、さまざまな伝統曲が演奏されました。コンサート中には珍しいアフリカの楽器の紹介、多古高生のためだけの特別な演奏曲のプレゼントや生徒が舞台上がり一緒にダンスをするなど、会場は熱気あふれんばかりに盛り上がっていました。



また、文化公演会が始まる前には多古高 JRC 部と生徒会の6名が熊本地震災害義援金の募金活動をコミュニティプラザ入口付近で行い、プラザ利用者や公演会参加者など、たくさんの方にご協力をいただきました。学校内でも休み時間を利用して教室を回り、積極的に活動をしてきました。今回集まった義援金は日本赤十字社を通して寄付されるそうです。

